

[電機連合長野地方協議会第65回定期大会挨拶]

議長 小池 政和

電機連合長野地方協議会第65回定期大会に、県下各地よりご参集をいただきました大会代議員の皆さん、傍聴者の皆さん大変ご苦労さまです。

また、本日は、休日にも関わらずご多用の中、電機連合本部より小山中執はじめ、電機連合政治顧問「石上としお」参議院議員、民進党長野県連から「杉尾ひでや」参議院議員、連合長野 中山会長含め、多くのご来賓の皆さまにご臨席いただきました。

後ほど、それぞれのご来賓の皆さまをご紹介します、ご挨拶をいただきたいと思います、日頃のご指導とご厚誼に対し、組織を代表して心から感謝と御礼を申し上げたいと思います。

本定期大会は、すぐる一年間の活動を振り返り、成果と反省・課題を踏まえ、新たな発展に向けた運動方針の議論をしていただくわけですが、私たちを取り巻く特徴的な課題・諸事情について、また、運動方針の一部について触れてご挨拶にさせていただきます。

まず、今定期大会第1号議案「加盟組合承認に関する件」でご提案しますが、今定期大会において、「日本無線労働組合」が東京地協を脱退し長野地協に加盟変更となります。既に、2014年12月から移転が進められてきており、東京にも一部組合員を残してとはなりますが、拠点登録が東京地協から長野地協に変更となります。

長野地協加盟組織で言えば、信越富士通さんが解散し、太陽誘電モバイルテクノロジーさんが県外移転、長野日電さんが本年3月で県内撤退され、組織人員が減少している中、長野地協として「日本無線労働組合」の加盟を大いに歓迎したいと思います。後ほどご提案させていただき、ご承認後、組織の代表者である太田委員長からご挨拶いただきたいと思いますので、満場の拍手でご承認を宜しくお願いします。

さて、先月7月5日から降り続いた豪雨により九州地方北部で大きな被害が発生し、広範囲での浸水や家屋の倒壊等、多くの被害が出ており、いまだに山間部では、全体状況が判明できていない地域もあります。自衛隊等による救助活動も継続している中、避難所では多くの住民が避難生活を余儀なくされ、避難の長期化も心配されます。今なお、6名の方々が行方不明となっており、いち早い捜索が待たれます。先月21日には、激甚災害に指定されると同時に、公共土木施設については、「局地激甚災害」にも指定されました。加えて、秋田県を中心とした東北豪雨、佐渡市を中心とする新潟豪雨もあり、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、尊い命をおとされた方々には心からご冥福をお祈りしたいと思います。

幸い、今般の「九州北部豪雨災害」については、本年使用範囲を拡大した「社会貢献活動特別会計」を適用するまでには至りませんでした。今後、電機の仲間が被災された場合には、常任幹事会での審議を経て運用規程（内規）に基づいて適切に活用していきたいと考えていますのでご承知おきをお願いします。

当然、「社会貢献活動特別会計」を適用する災害が無い方がいい訳ですが、運用については、幹事会にてご報告させていただきます。

気候変動が激しく大気不安定な状況が続き、国内外を問わず、極地的な集中豪雨が頻繁に発生している状況にあります。当然、備えは重要ですが、「最終的には、自分の身は自分で守る、いざという時の備えは自身で行う」、ということになると思います。長野地協としては、福祉部を中心として電機連合の共済加入に積極的に取り組むとともに、全労済の各種共済加入促進も含めて、組合員やご家族に万が一何かあった場合に備えての取り組みを強化していきたいと考えていますので、加盟組織のご協力を宜しく願います。

次に、政治について触れておきたいと思います。

昨年7月に実施された第24回参議院選挙において、電機の仲間として、パナソニックグループ労連から「矢田わか子」参議院議員を誕生させることができました。昨年の大会でも結果について触れていますので、多くは申し上げませんが、改めて、加盟組織の皆さんのご支援とご協力に感謝します。この参議院選挙により、自公連立政権与党と改憲に前向きな勢力が参議院でも3分の2を超え、衆参で文字通りの「安倍一強体制」となりました。

「社会保障と税の一体改革」を先送りする中で、「森友学園」や「加計学園」に加担した説明責任はおろか、衆参での国会閉会中審査からも疑惑・疑念が深まるばかりの状況です。更に「組織犯罪処罰法」、要するに「共謀罪」の修正案を強行採決するなど、安倍政権の強引な国会運営が行われています。

一方で、東京都議選においては、小池百合子都知事が代表を務める地域政党「都民ファーストの会」が49議席を獲得し、都議会第1党となりました。公明党などと合わせ、小池知事を支持する勢力は79議席を確保し、過半数の64議席を大きく上回りました。歴史的な惨敗を喫した自民党は23議席にとどまり、安倍政権にとっては大きな打撃となり今後厳しい政権運営を強いられる見通しとなっています。

いろいろな場面において、「恐らく、今年の秋には衆議院解散総選挙があるだろう」と申し上げてきましたが、今月3日の組閣人事を終え、解散総選挙が色濃くなってきたようにも感じています。いずれにしても意見はいろいろあると思いますが、遅くとも来年には任期満了での衆議院選挙があります。

また、再来年の7月には、第25回参議院選挙が実施されます。本日までご臨席いただいています、「石上としお」さんの2期目の挑戦があると信じ、長野地協の総力をあげて取り組まなければなりません。

我々の支持する民進党から離党者が続出し、野党再編の噂も飛び交う中、蓮舫代表が辞任し、新たな代表が今週末、9月1日に選出されることとなりますが、今の民意の受け皿と成り得る基盤づくりを進め、生活者・労働者・納税者と同じ目線で運営していける政党を強く望みたいと思います。

現状をみていると、一政党支持という姿勢が本当に良いのか、むしろ、私たち労働者・生活者目線で活動・活躍していける候補者個人を推薦・支持していくことの方が重要であるようにも感じてしまいます。政治は、社会保障や税の問題等々、私たちの生活とは切っても切れないものです。長野地協として、電機連合や連合・連合長野の推薦・支持する候補者の当選に向けた取り組みはもちろんですが、候補者個人を慎重に見極め、自信と覚悟をもって取り組めるよう、加盟組織の皆さんとも連携していきたいと考えていますので、引き続きのご理解とご支援をお願いします。

加えて、来年は長野県知事選もあります。再来年には統一地方選挙となります。長野地協組織内議員の当選はもとより、上部団体の方針を踏まえ取り組んでいきたいと考えていますので宜しくお願いします。

後ほど、ご提案させていただきますが、本日もご臨席いただいています、長野地協組織内議員の松木茂盛長野市議会議員においては、本年9月をもって議員活動50年を迎えることとなります。長野地協として、「松木茂盛長野市議会議員在職50年を祝う会」を開催したいと考えています。大変に長きに渡り、市政にご尽力いただいたこと、また、加盟組織へのご支援をいただいていたことに改めて感謝と御礼を申し上げ、ご承認いただきますよう宜しくお願いします。

次に、長野地協独自での社会貢献事業の取り組みについて触れておきます。

昨年に引き続き、8月8日に現地タンザニアからお子さん5名と関係者4名、小林フィデアさんとご主人を含め総勢11名にお越しいただき長野市飯綱町で交流をさせていただきました。半日という短い時間でしたが、昼食にはバーベキューを囲み、楽しく歓談させていただきましたし、テニスや卓球での交流も行いました。大変に喜んでいただき、来年以降も継続して交流の機会を設定することになりました。

加盟組織や各地区協の力強い取り組みにより、6月20日、飯綱町のサンクゼールを訪問し、この間の売上金の一部を小林フィデアさんに寄贈してきました。飯綱町のサンクゼール、NPO法人ムワンガザ・ファンデーションにおける、タンザニア孤児支援・孤児院建設に関わる取り組みについては、更に向こう1年の継続した取り組みをご提案させていただきますので、ご承認いただくとともに、引き続きのご支援とご協力をお願いします。

常々、フィデアさんご夫妻からは、現地の状況を見て頂きたい、との要望もあります。長野地協としても、この間の取り組みの成果がどうなっているのか、孤児支援や孤児院建設の進捗がどのようになっているのか、は加盟組織に報告する義務があると認識しています。

3年前、第62回定期大会にて、タンザニアへの視察訪問をご提案しご承認いただきましたが、エボラ出血熱の発生により現地訪問を延期し、翌年には断念した経緯もあります。あまりにも遠地であることも踏まえ、現地状況の視察を行うのか、現地視察以外、加盟組織に現況をご報告する方法はないのかも含め、常任幹事会での議論にご一任をお願いしたいと思います。

時間の関係から、電機産業の動向や2017春季交渉については電機本部 小山中執に委ねたいと思いますが、政治・経済を含む取り巻く環境や働き方の多様化、個々人の価値観の多様化、仕事と家庭の両立という難しい環境にある中で、『成長や勢いを追及するだけではなく、賢い分かち合いの構図を見出して共有のあり方を工夫』していくべき時代だと認識しています。

引き続き、運動の原点に立ち返り、職場組合員の共鳴につながる取り組みを進め、組織力強化を図り、労働運動に求められている今日的課題に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

本定期大会は限られた時間ではありますが、大会代議員の皆さんの活発なご議論をお願い申し上げ、常任幹事会を代表しての招集のご挨拶にさせていただきます。

ありがとうございました。